

東部地区環境市民会議が調べた環境の現状

東部（旧由木村）地区の北側は多摩丘陵が東西に走り、南側は多摩ニュータウンとして、それぞれにみどりの景観が形成されています。昭和57年に「南陽台の自然を守る会（現：多摩丘陵の自然を守る会）」が発足して以来、およそ40年に渡り、多くの住民の努力によって、多摩ニュータウン・由木の里山保全活動が続けられてきました。清浄な空気や水の供給源である、みどり連なる多摩丘陵の里山を維持することで、人の生活と多様な生き物の生活環境を守ることができます。環境省が指定する重要里地里山500のうち2か所が当地区にあり（都内では8か所）、別所にある長池公園（面積9.8ha）、堀之内にある堀之内寺沢里山公園（面積5.2ha）が整備されています。

また、同じく堀之内にある宮嶽谷戸は、都から市に管理が移管されたことに伴い設置された宮嶽池検討会（当会より委員を2名選出）で、保全の計画案作りに参加しています。

里山農業クラブ・八王子由木メカイの会を中心に活動してきたメカイ作りが令和5年3月に都の無形文化財に指定され、大きな励みとなりました。

■ 東部地区の主な取組

1 里山保全活動の推進

当地区では、長池公園や堀之内里山保全地域などで、里山・谷戸の保全活動を実施しています。

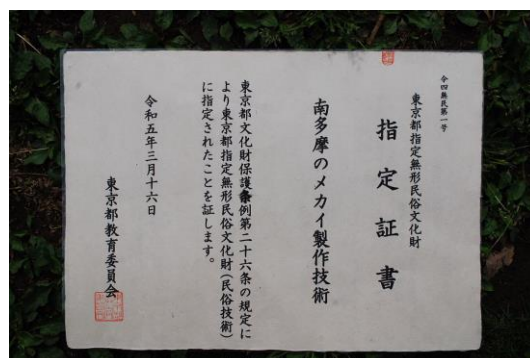
長池公園では、長池里山クラブが主体となり毎月第2土曜日を中心に月例行事を実施しており、当地区も協力しました。主な活動は、炭焼き（4月）、田植え（6月）、稲刈り（10月）、収穫祭での餅つき（12月）、正月のどんど焼き、炭焼き（2月）、椎茸、ナメコの駒打ちです。さらに、民間企業の環境活動の一環である植樹の取組を、継続的に支援しています。

堀之内里山保全地域では、里山農業クラブ・ユギ里山保全チーム・多摩丘陵の自然を守る会で構成される堀之内里山管理協議会が、耕作が放棄されて荒廃した谷戸源頭部の、アズマネザサやアオナリヒラタケの伐採を行い、里山の保全整備を推進しています。里山農業クラブによる第22回「田んぼの学校」に、年間を通して協力しました。

また、自然体験講座を開催しており、令和4年度は10月に寺沢・堀之内において、多摩丘陵の自然を知ってもらうため、樹木や草花を学習しながら歩く自然観察会を開催しました。

2 花壇の維持・管理

当地区では、南大沢駅前のペDESTリアンデッキに設置された大型花壇22基の維持・管理を支援しています。これは、市のアドプト制度を活用したボランティア活動として、南大沢みどりのサポーターの会が毎月実施しているものです。令和4年度は、毎月2回の定例活動に加え、6月に夏苗の植付け、7月中旬から8月にかけては夏の水やりを実施しました。その他、花の植替えや苗の



南多摩のメカイ製作技術の無形文化財認定証

手入れ作業も計画通り実施しました。

3 環境教育支援事業の推進

例年行っている川の学習については、地区内の3小学校で6月から10月に実施しました。また、秋葉台小学校5年生の田んぼの学習を5月から11月に全5回、長池公園の田んぼで実施しました。カイコ・シルクに関する学習も2校で10月から11月に支援しました。



植林活動

4 大気汚染測定と水質調査

大気汚染測定と河川の水質調査を実施しています。

大気汚染測定については、毎年6月と12月に大気汚染測定運動東京連絡会が主催する全都一斉測定に参加し、令和4年度は6か所の居住区域で実施しました。

水質調査については、6月の「水環境の全国一斉調査」に参加し、大栗川・大田川などの計9か所で河川の水質(COD)を調査しました。橋の上などから採水する際は、自作の表層水採水具を使用し、水深の浅い箇所でも底泥が混入することなく採水することができました。

新たな取組として、大腸菌の定点測定を大栗川等の数か所で実施しました。

5 豊かな自然環境への市民の親しみ向上

西緑地科学クラブとの共催でイベントを開催しました。長池公園自然館では、7月に里山の池の小さな生物観察、8月に初音笛作り、11月に竹とんぼづくりを、生涯学習センター南大沢では、3月に由木の植物をテーマに講座を開催し、市民が里山の豊かさへの関心をもつ機会を提供しました。

また、これまでに刊行した由木地区自然観察路マップ・樹木マップ・みどりの道マップに加え、写真絵葉書5種(クチナシグサ、フデリンドウ)に加え、クリア・ファイル(ルリビタキ)を作成し、各種イベント等で配布しました。

■ 特色のある取組

当地区のウェブサイトを開設し、由木地区自然観察路マップ・樹木マップ・みどりの道マップのほか、由木地区里山の植物誌や、日頃の活動の成果を掲載しているほか、市民活動支援センターが運営する「はちコミねっと」にも当地区の情報を掲載しています。

また、定例会では学習会を開催しました。4月に「宮嶽池の整備計画案について」、5月に「由木の里地里山に生きるカエル」、6月に「地球温暖化防止のために建築物の断熱性向上義務化、木造建造物の奨励の法改正」、9月に『第2次八王子市環境基本計画』進捗状況と今後の方向性、10月に「大栗川における糞便性大腸菌群数と大腸菌数の調査結果」、11月に「伝統的な谷戸管理手法により育まれた多摩の水辺」、2月に「由木の野鳥」、3月に「環境市民会議のタスクの再定義」をテーマに行い、環境問題の情報共有に役立てました。